

⑫ 穴田4号古墳 (右)

企業団地の信号を北に入っすぐのところに、りっぱな看板があります。

④七郎佐古墳 (下)

愛知環状鉄道のトンネル横の定光寺研修センターに通ずる道のきわの小高い山の上にあります。標識がないので探すのはむずかしいですが天井の石も残っているりっぱなものです。



穴田4号古墳



七郎佐古墳

右は内部→



水野の古墳

水野の銘木

① マルバタラヨウ (モチノキ科モチノキ属) (三社大明神) 市指定天然記念物

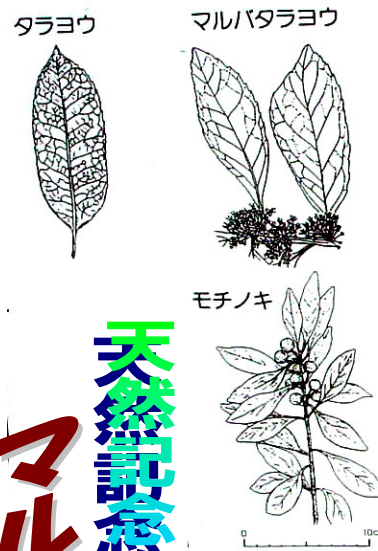
この木はモチノキとタラヨウの雑種で平成8年に学会に報告された。モチノキとタラヨウはいずれもモチノキ科で雄株と雌株がありモチノキは4月、タラヨウは5月中旬に開花する。タラヨウは雑種が非常にできやすく、雑種が確認されたのは国内はもとより世界的にも例をみず、極めて貴重。

② アベマキ (ブナ科) (八幡神社内) 大樹が多い八幡神社の中でもひとときわ大きな木。社殿の北西にある。

③ ツブラジイ (ブナ科) (八幡神社下) 樹齢500年で瀬戸市で一番の老木。八幡神社の森は、昔から神域として大切にされ当地方の太古の姿を残す貴重な照葉樹林。

④ 大イチョウ 水野川の北脇用水の近くにある。

⑤ 北脇のムクノキ (ニレ科) 樹齢600年、高さ20m。神が宿る木として畏敬されている。秋にはたくさんの実がなる。



天然記念物
マルバタラヨウ



水野の里と地下工場跡について

このパンフレットを作成したのは「瀬戸地下軍需工場跡を保存する会」です。

何やら、いかめしい名前ですが、1990年に発足以来、市民公園の北にわずかに残る太平洋戦争当時の「地下工場跡」を市民の皆さんに見てもらうために跡地とその周辺を「平和の散歩道 (仮称)」として整備・保存するとともに、地下工場と戦時下に関わる資料を保管公開する資料館作りを目指す草の根の団体です。

終戦後60年近くが過ぎ、戦争の記憶は過去の遺物ともに闇の彼方に消え去ろうとしています。全世界を巻き込み、すべての人間を苦しめたあの第二次世界大戦は人類史の中で最も悲惨な出来事でありました。その記録・記憶は永久に残していかなければならないものでしょう。

水野にある地下工場跡は戦争当時「愛知航空機永徳工場」の疎開工場で全長4kmもありました。内部には旋盤をはじめ900近い機械が設置され、一部、飛行機の部品が作られていたそうです。工場を建設・操業するために愛知航空機の従業員だけでなく、地方の勤労学徒や朝鮮の人達も働かされました。そんな地下工場も今は、わずか5箇所の入り口と水槽跡だけが残っています。

水野に残された古墳時代からの史跡とともに、この地下工場跡も歴史の証人として大事に残していかなければならないでしょう。

「見学にあたっての注意とお願い」

史跡・遺跡の多くは、看板もなく地元の人でもよく分からないことがあります。とくに「地下工場跡地」は水野小学校の南、市民公園陸上競技場の北東谷にあり、足場が悪くなっています。見学の際は十分ご注意ください。なお見学等のご質問・ご意見については以下の連絡先をお願いします。

2003年11月1日 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

連絡先

大矢昭夫 0568-51-0618

Eメール tera-m@ob.aitai.ne.jp

ホームページ <http://www.ob.aitai.ne.jp/~tera-m/index.htm>

瀬戸百景のひそひそ! 昭和史の証人



右の穴は東の山、下は西の山にあります。いずれも奥は崩れています。



終戦当時のようす



⑮ 愛知航空機水野疎開工場跡

水野小学校の南の谷あいにあります。市民公園の陸上競技場横の谷を下りの方が分かりやすいです。東の山の上には水槽跡もあります。足場がたいへん悪いです。見学される方はくれぐれもお気をつけて!

歴史の宝庫
水野の里



たんけんマップ

歴史の宝庫「水野の里」ようこそ!

陶器の都、瀬戸市の北西に水野の里があります。北には徳川家由来の定光寺があり、東には企業団地、南には市民公園があります。真中を大きく蛇行する水野川が流れています。どこかなつかしい里、そんな水野は、古墳時代から続く歴史の宝庫です。一緒に水野の里を探検に行きましょう!

⑭ 水野代官所跡 (右)

旧水野村古地図 (陶板)
水野小学校前にある。



水野村
天保十二年



※写真上の番号は地図の番号と合せてあります。